

京都路地入

Kyoto  
logie





敷地の中にお茶室があります。  
ここ、時間借りできるんですが、僕が借りても  
昼寝ぐらいしかできないんで。  
今日は外から眺めるだけ。

とはいえ、こんなにじっくり、あっちからこっちから、  
お茶室を見たのって初めて。



←こっちににじり口があります。　ほいでもって↑炉がここに。  
↑ここに軸とかをかけるんでしょうか。  
となると、亭主が座るのって→の奥の方？  
性根の悪そうな木使ってるなあ。  
なんてことを想像しながら、、、。

もちろんこの辺りに、「入らないでください」って札があります。



---

色彩の無い室内と、緑が鮮やかな屋外の対比。

そして茶碗の中の緑。

緑の中に閉じ込められた茶室。

緑を閉じ込める茶碗。

手の中で、反転する宇宙。



爪で搔いたような跡が、、、。

”「 ”部分に指を添えるだけでいいはずなのに（笑）







前の頁でなんだかんだ書いてた部屋が→になります。







普通だったら、自然光でこういう光の入り方ってありえないですよね。  
手前からと奥からの光が交錯するとか。

茶室の外の、塀の反射光が来ているのだと思います。  
頭使うなあ、今日は。



←こっち側にいました。  
四角だけでできている部屋。  
単調になりそうだけど、この柱↑がいい。

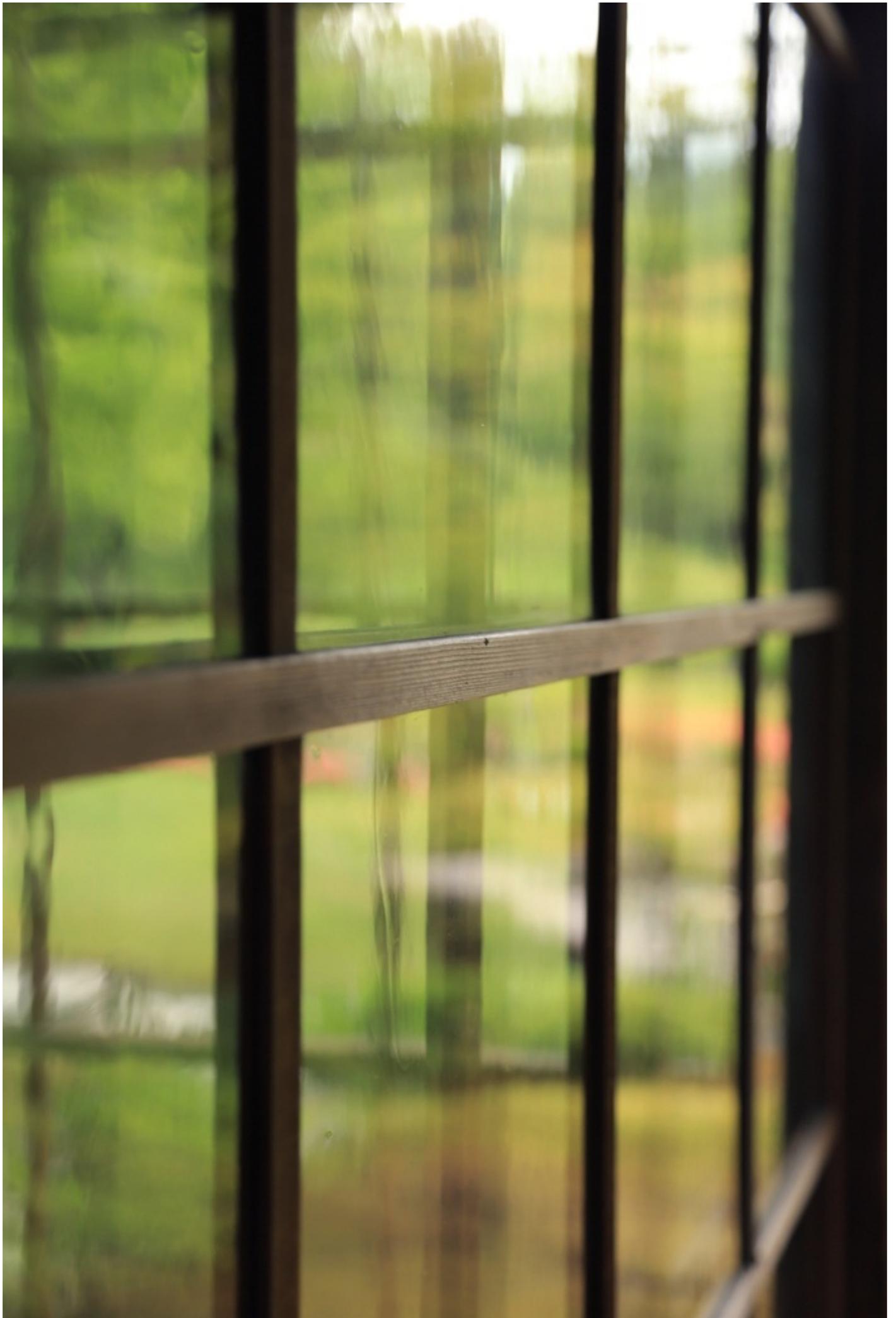
群像画の中に、画家が自画像を書き入れるのに似ているかも。  
そのことで、その絵は特別な意味を持つ。



装飾の無い平板な壁や畳から引かれた線が、  
この炉の右隅に集まってくる。  
この茶室の精神性の、凝集を感じます。



雨の翌日でよかった。  
晴れるとまた、違う趣きなんだろうなあ。







出やがった！



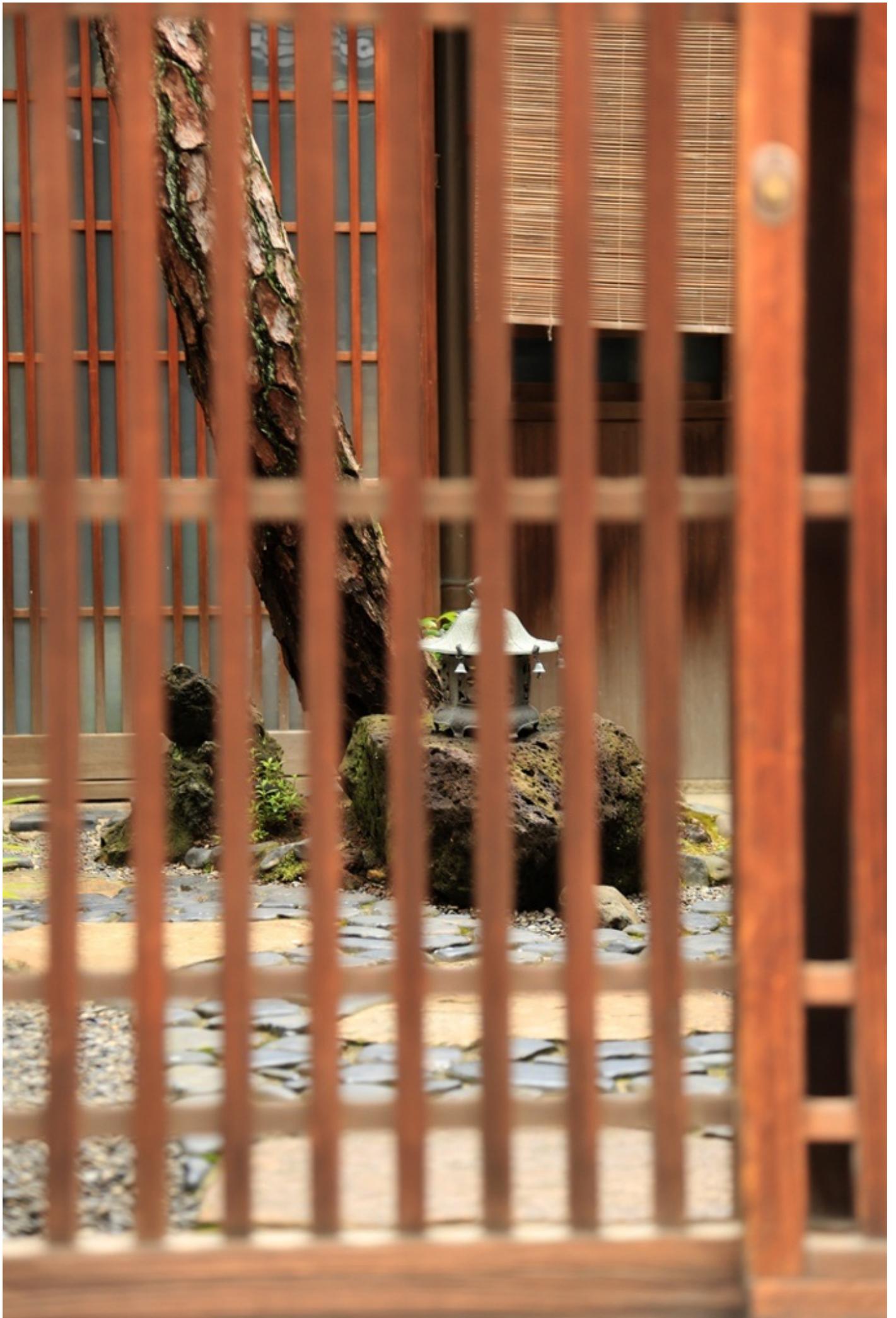


堪能しました。

このあと、鴨居に頭をぶつける。



瓢亭さんですね。  
一生ご縁は無いと思いますが。



---

松の膚と石畳が相似しています。  
夜、灯籠に火を灯すとどんなだろう。

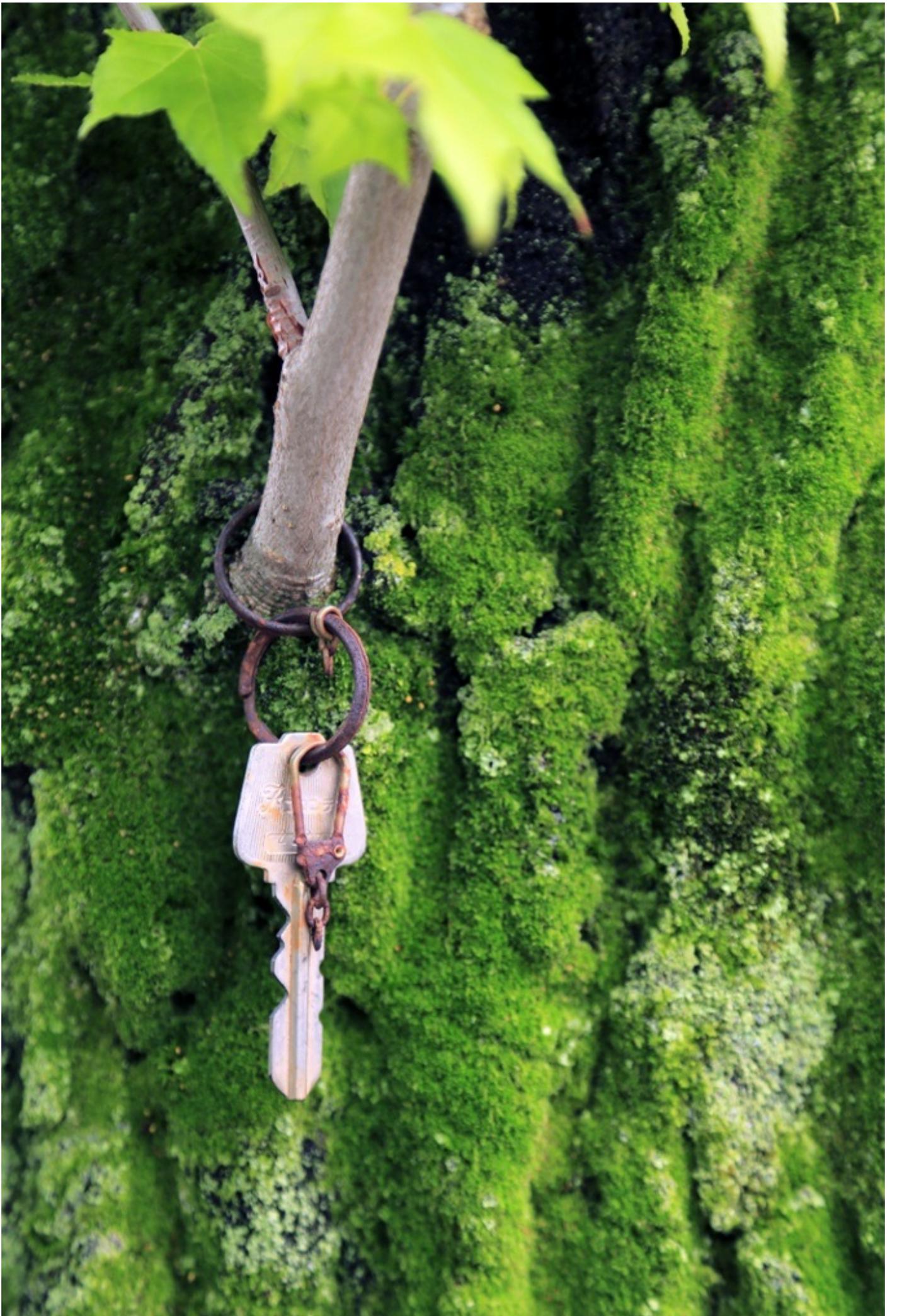


盆庭

玄関先に置いてはりました。



これ好きなんです。



---

今日の鍵

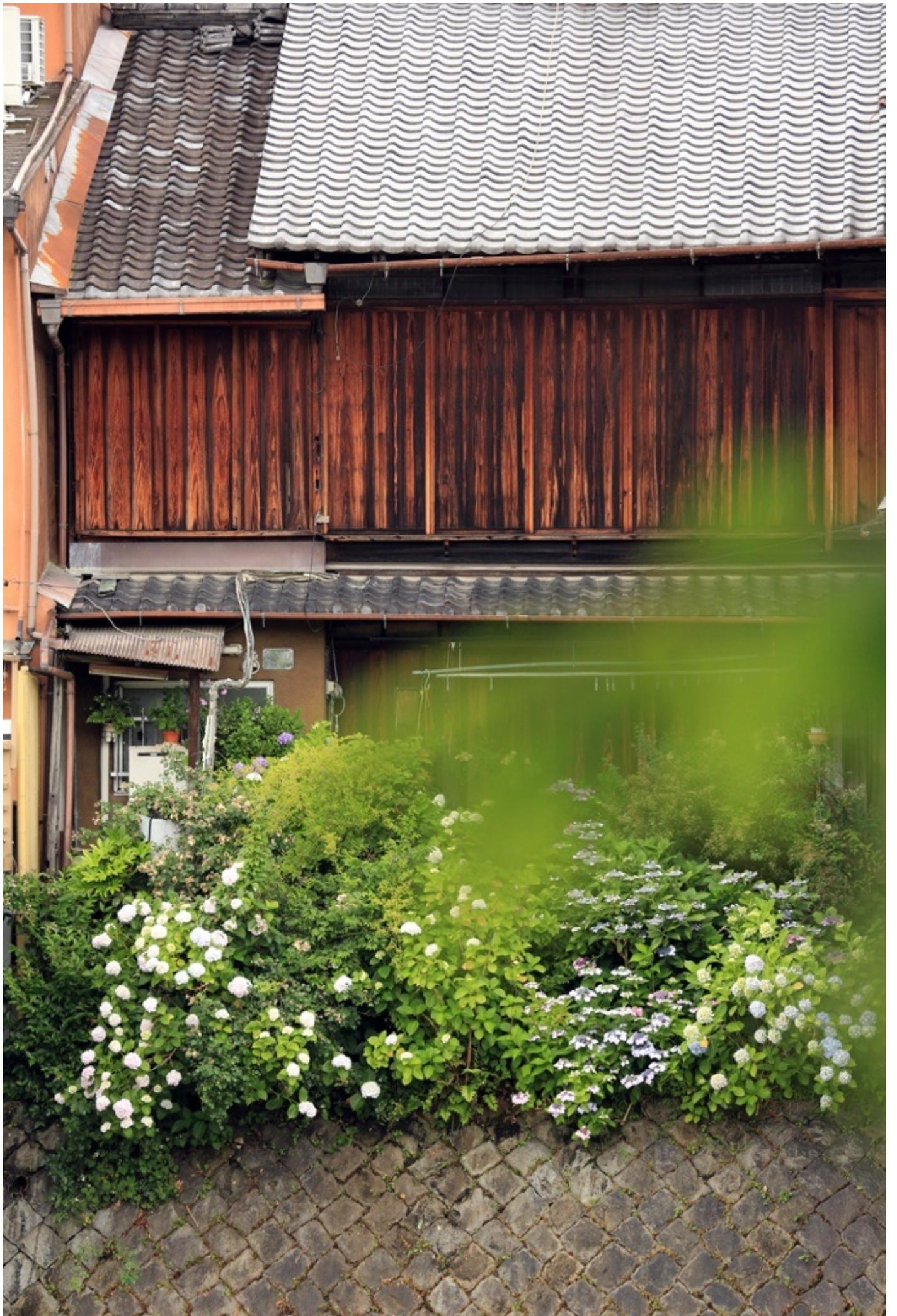
何年ぐらい前からここにぶら下がってるんだろう。







なんか雰囲気ええわ、ここ。



---

鴨川沿いに戻ってきました。  
この両側には床が張り出しています。  
表はどうなってるんやろう？



---

まだ午前中やで、君ら。  
ここに並び出すのは夕方から。



割ときっちり着付けしてもらってはるけど、  
ちょっと首のところが抜けすぎてる気が、、、。  
まあ、でも、ええ思い出になるでしょうね。

今日はここまで。

[京都路地入-kyotorogie 無鄰庵](#)

[京都路地入-kyotorogie 吉田山](#)

[サマータイム・ブルーズ2](#)

[京都路地入-kyotorogie 一条通](#)

[桜守りの庭 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電](#)

[梅催い、雨模様](#)

[「passer un après-midi 10午後の過ごし方」](#)

[冬の手紙2](#)

[冬の手紙](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4.5](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4](#)

[ilminaria 2](#)

[ilminaria](#)

[Flower Garden II](#)

[Travelogue \\_ep.05 山へ行く](#)

[Flower Garden](#)

[Travelogue \\_ep.04 蓼科へ](#)

[passer un après-midi 9 午後の過ごし方」](#)

[Monochroque](#)

[passer un après-midi 8 午後の過ごし方」](#)

[passer un après-midi 7 午後の過ごし方」](#)

[空と菖蒲と、蓮と](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+3<](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+2](#)

[Travelogue \\_ep.03 近つ淡海](#)

[passer un après-midi 6 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都水族館はペンギンで一杯です」](#)

[「passer un après-midi 5 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+1」](#)

[Photo「花水硝」](#)

[「passer un après-midi 4 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou」](#)

[「passer un après-midi 3 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです Qu」](#)

[「passer un après-midi 2 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです nYa」](#)

[「passer un après-midi 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)

[「Travelogue ep.02 桜巡り」](#)

— 僕カノシリーズ — バックナンバーズ

[「僕が彼女に殺された理由（わけ）」](#)

[「僕と彼女の選択の事由（わけ）」](#)

[「僕と彼女はそれしか答えを見つけられなかった」](#)

[「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」](#)

[「僕と彼女と複雑な関係者たち」](#)

[「僕と彼女と単純な関係式」](#)

[「僕と彼女と校庭で」](#)

[「僕と彼女と校庭で 夏」](#)

[「僕と彼女のエリア」](#)

[「黄金の麦畑」 1.Largo](#)

[2.Allegro molto](#)

[3.Adajo](#)

[「黄昏の王国」](#)

[イーリアス編](#)

[アリシア編](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mu」](#)

[「Travelogue ep.01」](#)

[Photo「Hina」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです itu」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」](#)

[Photo「からくれないに ni」](#)

[Photo「bleu, jaune, vermillion」](#)

[Photo「H.45」](#)

[Photo「Fly me to Paris I～XIV」](#)

[Photo「祇王 こけのころも」](#)

[Photo「空と雨と6月と」](#)

小説

[「ネガティブズ2」](#)

[「ネガティブズ」](#)

[Photo「空と僕と自転車とni」](#)

[Photo「空と僕と自転車と」](#)

[Photo「空と椿と木蓮と、そして花水木」](#)

[Photo「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」](#)

[Photo「空と雲と、ときどき春の野に行く」](#)

[Photo「空と月と、夜桜デート」](#)

[Photo「空と木と、ときどきの梅暦」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」](#)

[Photo「空と木とたまに月」](#)

[Photo「からくれないに」](#)

[Photo「空と雲と、ときどき月」](#)

[Photo「夢みる桜」](#)

— その他 —

[傘がない](#)

[夕暮れの赤ちょうちん](#)

[いもうと](#)

[サマータイム・ブルーズ](#)

[危険なドライビングマジック](#)

[デフラグメント](#)

[インフルエンズ あのころの僕たち](#)

[花舞い、名残り雪](#)

[詞画集「ただ憧憬だけを」](#)

[画集「彼と彼女の表紙画集」](#)